

令和6年度 学校評価結果報告書

四国中央市立川之江南中学校

生徒378人(1年127 2年128 3年123) 保護者261人 教職員29人

△は昨年度2学期よりアップ ▼は昨年度2学期よりもダウン 【A評価は80%以上 B評価は70%～79% C評価は69%以下】

No.	分類	評価項目	肯定的評価			総合判定	達成状況	分析・考察(○)課題(●)	具体的改善方策	学校関係者評価
			教員	生徒	保護者					
1	学校の姿勢	南中は楽しく生活できる。	92%	90%△	85%△	A	良好	○「楽しく生活」「生き生きと活動」の項目では、生徒、保護者、教員ともに肯定的な回答が80%を超えていることから、生徒の多くは楽しく活動的に学校生活を送ることができていると言える。 ○「生き生きと活動」の生徒、保護者、教員とも昨年度より評価が向上している。生徒主体で学校行事に取り組んでいることが良い結果につながっていると感じる。 ●「安心して学べる」の項目も、概ね肯定的な評価とはなっているが、不安を抱えている生徒が20%程度いる。	○年度当初に、配慮を要する生徒の情報共有と個別の支援方法の確認を教職員全体で行う。 ○学習規律の確認を行い、年度当初に徹底して指導を行えるようにする。 ○より生徒主体の活動が行えるよう、生徒会と連携を図り、計画的に実施する。 ○環境整備について、引き続き行政と連携を取り改善を図る。	○生徒の表情がよく、落ち着いて学校生活が送れていると思う。 ○安心できる学校にするためには、授業が分かることと、いじめ等がないことが大切である。 ○体育祭や校内合唱コンクールで、目標に向かっていく子どもたちの姿がすばらしかった。
2		南中は安心して学べる。	94%△	80%▼	91%△	A	良好			
3		南中で生徒は生き生き活動している。	96%△	93%△	89%△	A	良好			
4		南中は教室や廊下など、学ぶ環境が整備できている。	69%△	75%	76%▼	B	改善が必要			
5		南中は便りやホームページで積極的に情報発信している。	100%	93%△	97%▼	A	良好			
6		学校行事(体育祭、修学旅行、文化祭など)は適正である。	93%▼	83%▼	96%	A	良好			
7		先生は、温かい学校づくりに取り組んでいる。	96%	92%△	89%▼	A	良好			
8		先生は、生徒を理解している。	96%	86%△	80%▼	A	良好			
9		先生は、よく分かる授業を提供している。	97%△	90%△	81%▼	A	良好			
10		先生は、困ったことや相談ごとに適切に対応している。	100%△	90%△	80%▼	A	良好			
11		先生は、部活動に熱心に取り組んでいる。	96%▼	92%△	92%	A	良好			
12		南中の教職員は、電話や懇談などでマナーを心得ている。	100%△	86%△	95%△	A	良好			
	教員の取組							●保護者の評価が若干下がっている項目が多い。要因には、アンケート回答率が上がったことも考えられる。学校への関心が高まっていると考えられる。	○年間を通して計画的に教育相談等を行うなど、より相談しやすい環境を整えるとともに、日頃より生徒の様子に留意し、素早く対応できるように心掛ける。 ○家庭訪問等を通して、より保護者との信頼関係を深め、家庭と学校が協力して子どもを支える体制づくりを行う。 ○ICTの活用に関しては若手教員が中心となってより効果的な活用方法を研究する。学級経営や授業づくりに関しては、ベテラン教員が中心となり若手教員に対する指導の助言や研修を行う。	○体育祭や参観日に案内をいただき、学校の様子や子どもの様子がよく分かって良かった。また、子どもの成長も見ることができた。 ○小学校でも、授業力の向上やPTA活動の参画、働き方改革など課題となっているので、取組を丁寧にしていきたいと思う。 ○部活動でも前向きに良く頑張っていると思う。

No.	分類	評価項目	肯定的評価			総合判定	達成状況	分析・考察(○)課題(●)	具体的改善方策	学校関係者評価
			教員	生徒	保護者					
13	グランドデザイン	生徒はあいさつを頑張っている。	86%△ A	90%▼ A	87%▼ A	A	良好	○「あいさつ」については、若干評価が下がっているものの、全体的にはよくできていると言える。 ○「授業の満足」に関して、教員、生徒共に高い評価となっている。特に生徒の評価のうち、3年生では肯定的な評価が95%を超えており、日々教員が授業改善に務めた結果が現れていると言える。 ●「いじめ」に関して、生徒、保護者共に評価が下がっている。生徒の20%近くが不安を抱えていることが重要な課題であると考えられる。 ●「履物をそろえる」に関して、保護者の評価が著しく低いのは、質問の仕方が「家庭で」となっているためと考えられる。	○常任委員会等の活動と合わせて、生徒が中心となり、「挨拶」「返事」「履物を揃える」ができる生徒100%を目指す取組を行う。 ○若手教員が増加していることから、研修主任や教務主任、教科主任と連携して、授業づくりに関する若手教員向けの校内研修の充実を図る。 ○生徒の動向に気を配るとともに、情報の共有に務め、いじめの未然防止及び早期発見、早期解決に務める。 ○トラブルが発生した場合は、学級担任や担当教員が抱え込むことのないよう、生徒指導主事を中心に対策チームを組織し、チームで対応にあたる。	○「いじめ」の項目について、生徒の20%が否定的な意見であった。いじめの早期発見・早期解決のために、関係機関と連携を密にしながら、解決に取り組んでほしい。 ○小中の引継ぎの際には、情報を正確に伝えられるようにしていく必要がある。 ○一部の生徒で、交通マナーを守れていないことがある。
14		名前を呼ばれたとき「ハイ」の返事ができる	65%▼ B	92%△ A	89%▼ A	A	概ね良好			
15		履物をそろえることができる	86%△ B	97%△ A	53%▼ C	B	対策が必要			
16		いじめはなくなってきた(いる)と感じる。	82%△ A	81%▼ A	70%▼ B	A	概ね良好に見えるが、対策は必要			
17		生徒は学習用品や宿題忘れがない。	38%△ C	75%▼ B	72%▼ B	B	対策が必要			
18		生徒は授業に満足している。	97%△ A	90% A	71%▼ B	B	概ね良好			
19		生徒は朝食を摂って登校している。		95%△ A	91%▼ A	A	良好			
20		生徒は交通ルールを守っている。		98%△ C	95%▼ A	B	概ね良好だが課題もあり			
21	保護者としての役割	保護者は、学校の教育方針を理解している。	93%△ A	91% A	88%▼ A	A	良好	○結果から保護者には、本校の教育方針を理解し、教育活動に積極的に協力していただけていると感じる。 ○保護者は生徒としっかりとコミュニケーションが取れていると言える。 ○「PTA活動」に関して、保護者の評価は低いが、実際には役員の方々を中心に十分ご協力いただけていると感謝している。	○学校ホームページを効果的に活用し、日々の生徒の活動の様子を保護者に伝えていくことで、学校への理解をより深めていく。 ○今後も公民館との連携を深め、地域行事への積極的な協力を行う。 ○保護者配信システム「tetoru」を有効活用し、参観授業や学校行事、PTA行事等への保護者の積極的な参加を呼び掛ける。	○拡大運営協議会で生徒をはじめ、いろいろな方と学校をより良くするための方策について話し合う時間を持てたことは大変有意義であった。 ○拡大運営協議会の取組が新鮮で有意義だった。しっかりとした考えを持って自分の意見を述べるができる生徒が育っている素晴らしい。 ○子どもたちと地域の人たちがより近くなるよう、話し合える場があると良いと思う。引き続き地域行事への参加もお願いしたい。
22		保護者は、子どもとのコミュニケーションをしっかりと取っている。	89%△ A	93% A	96%△ A	A	良好			
23		保護者は、PTA活動に積極的に参加している。	90%△ A	85%△ A	56%▼ C	B	概ね良好			
24		保護者は、地域の行事に子どもと一緒に参加している。	76%△ B	62%△ C	52%▼ C	C	課題あり			
25		保護者は、授業参観に積極的に参加している。	97%△ A	90%△ A	84%▼ A	A	良好			
26		保護者は、学校・学年・学級便りや連絡文書をよく読んでいます。	100%△ A	92%△ A	86%△ A	A	良好			
27	働き方改革	南中職員室は明るく和があり、年休等を取得しやすく働きやすい。	93%△ A			A	良好	○結果から、チーム学校としての連携がしっかりととれていると考えられる。また、休暇等に関しても適切に取り組める環境であると言える。 ●配慮を要する生徒が増加しており、担任への負担も大きくなっている。	○個々の負担を減らすために、校務分掌を複数で担当したり、生徒指導や保護者対応をチームで行ったりすることができるよう、組織づくりを行っていく。	
28		生徒への対応などに組織として対応しており、個人の負担になっていない。	80%▼ A			A	概ね良好			
29		部活動は、適切な活動時間や休養日が設定されている。	83% A			A	良好			